学年	教科名	科目名	教科書名	
高3 (総進)	地歴科	日本史A	   日本史A新訂版 (清水書院) 	

### 授業の目標

- 1 近現代史を中心とする日本の歴史の展開を,世界史的視野に立ち日本を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い,国際社会に主体的に生きる人間としての資質を養う。
- 2 歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付ける。

## 授業のすすめ方

- 1 主として講義形式で行います。重要事項を板書します。日本史専用ノートを用意し、授業中の重要事項は必ず書き留めるようにしてください。
- 2 電子黒板などを適宜利用して授業を展開するとともに、確認問題・課題の配信などを予定しています。
- 3 授業進度により、ディスカッション、プレゼンテーションなどアクティブラーニングも取り 入れる予定です。

## 学習上の留意点

- 1 歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが、教科書にまとめられています。人物名・ 事件名・年号などを暗記することも大切ですが、歴史事象の背景を理解することによって、 歴史的思考力を養うことができます。授業ではそのことを意識して臨んでください。
- 2 歴史(過去)を学ぶことによって,現在の問題(課題)を考え,未来(解答)を導き出す学問です。常に「なぜ」の問いかけを持つようにしてください。
- 3 教科書をよく読んで、歴史の流れをつかむようにこころがけてください。

#### 副教材

なし

## 評価

- 1 定期考查3回(100点×3)·平常点(1学期20点+2学期10点)
- 2 平常点は授業中の態度を中心につけます。ノート検査、発問に対する回答状況等を評価します。
- 3 定期考査は授業内容から主に出題します。毎回の授業に集中し、教科書をしっかり読んでください。

# 授業計画

授業				
期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
_	四	第2編 大戦期の世界と日本	定期考査	1 政党政治の推移と大
学	月	第1章 第一次世界大戦と日本		衆文化の形成過程を理
期		護憲運動と大正デモクラシー	授業姿勢	解する。
	五.	第一次大戦への参戦と国際関係の		
	月	変化	ノートの状況	2 諸国家間の対立や協
		大戦景気と米騒動		調関係と日本の立場,国
	六	政党内閣の成立と戦後恐慌		内の経済・社会の動向,
	月	ヴェルサイユ体制 国際連盟の成立とワシントン体制		アジア近隣諸国との関
		社会運動の高まり		係に着目して、二つの世
	七	関東大震災と政党内閣の時代		界大戦とその間の内外
	月	第2章 第二次世界大戦と日本   金融恐慌と外交政策		情勢の変化を理解する。
		世界恐慌と昭和恐慌		
		満州事変と国連脱退		
	九	二・二六事件と日中戦争	定期考査	3 第二次世界大戦後の
学	月	第二次世界大戦と日本	7 - 7 / 7	国際関係の推移に着目
期		日独伊三国同盟と日米の対立 アジア太平洋戦争の勃発	授業姿勢	して、占領政策と諸改
//-	+	日本占領下のアジア		革、新憲法の成立、平和
	, 月	戦時下の国民生活	   ノートの状況	条約と独立など我が国
	7,	日本の敗戦	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	の再出発及びその後の
	+	第3編 現代の世界と日本   第1章 戦後政治の動向と国際社会		政治の推移と新しい外
	<u>'</u>	占領と改革		交関係を理解する。
	月	占領下の政治と労働運動		人因外已在开 <i>户</i> 50。
	71	日本国憲法の制定 冷戦と占領政策の転換		
	+	大戦後の国際情勢と日本の独立		
	_	2.2.2.2		
	月			
三	71			
学				
期				
231				

<sup>※</sup>シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。